

## 単元の目標

- (1) 浮世絵の構図や色彩、線などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に全体の印象や作風で捉えて、西洋絵画にどのように生かされているかを理解することができる。
- (2) 浮世絵の造形的なよさや美しさを感じ取り、創造的な工夫などについて考えたり、同時代の西洋絵画との相違点などに気付いたりして、美術を通した国際理解について考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に浮世絵が西洋に影響を与えた理由を探るなどの鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

## 標準的な展開例

【準備等】タブレット端末、グループ活動用鑑賞資料、ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 浮世絵が西洋に与えた影響について関心をもって鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゴッホ「タンギー爺さんの肖像」を見て作者を予想する。</li> <li>○ ゴッホについて簡単な解説を聞き、浮世絵が西洋に広がったきっかけを理解する。</li> <li>○ 画像資料からジャポニスムについて知る。</li> </ul> <p>○ グループで浮世絵と西洋画を比較鑑賞してその違いをワークシートに書き出す。</p> <p>○ なぜジャポニスムが起こり、西洋に大きな影響を与えたのかを、グループで話し合い自分たちなりに解釈してみる。</p> <p>★ 西洋の人たちにどんな衝撃を与えたのか、自分たちなりに考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループで導き出した解釈を発表する。</li> </ul> <p>○ 本時で学んだことや考えたことをワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレット端末で資料画像や拡大画像を大きく見せる。</li> <li>・ 適宜質問し、ヒントを与えながら、積極的な発言を導き出すよう配慮する。</li> <li>・ 2次元コードを読み取り、ジャポニスムのきっかけを知らせる。</li> <li>・ 浮世絵が輸出品の緩衝材として使用されていたことを教える。</li> <li>・ 浮世絵と西洋画のそれぞれの形や色彩に着目させて違いを書かせる。</li> </ul> <p>【評】 資料を参考に自分たちなりに予想し解釈する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 的を射た意見や、面白い解釈はリピートして紹介しながら進行する。</li> <li>・ ジャポニスムについて分かったこと、考えたことを記入させる。</li> </ul> <p>【評】 浮世絵と西洋画のそれぞれの形や色彩に着目させる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

本題材は、ジャポニスムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかなどを捉え、表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。